

事業執行状況確認シート

令和6年度 草津川跡地公園 指定管理者事業別計画書
(団体名: 草津川跡地公園マネジメント・パートナーズ)

◆評価基準

☆☆☆☆☆ 計画に対して、その計画よりもはるかに優れた内容である

☆☆☆☆ 計画に対して、その計画よりも優れた内容である

☆☆☆ 計画に対して、概ね計画に沿った内容である

☆☆ 計画に対して、若干の改善が必要な内容である

☆ 計画に対して、計画どおり実施できておらず、改善が必要な内容である

計画		
事業名	目的・内容等	実施時期・回数等
記入例 指定事業 or 自主事業 ○○事業	《目的》 《内容》	《実施時期》 ○月 《回数》 ○回
1 指定事業 評価項目 1 施設の維持管理	《目的》 様々な目的で訪れた来園者だけでなく、近隣住民にとっても安全で快適な環境となるよう、安全と感動体験を妨げる障害を排除し、安全で衛生的な公園環境を維持管理する。 《内容》 ・センサリーツアーの実施 ・園内照明点検(日中・夜間) ・原因究明と再発防止、合理化の推進 ・スケートボードやBMX等の禁止行為の抑制	《実施時期》 ・センサリーツアー 4回/年 (4月、7月、10月、1月) ・スケートボード、BMX等の公園内禁止行為の抑制(通年) ・園内照明点検及び修繕 月・水・金: アップライト清掃 日常メンテナンス 夜間: 不点灯確認(随時)
2 指定事業 評価項目 1 植栽管理事業	《目的》 ①美しいガーデン景観の維持と創出 ②健全な植栽管理による良質な空間づくり ③スパイラルアップの仕組みづくり 《内容》 ・植栽管理マニュアルの更新 ・植栽管理技術の向上 ・更なる修景と新たな空間(見どころ)づくり ・先進地視察による技術習得 ・資材のリサイクル利用の推進 ・費用縮減に繋げる具体的な取り組みの実施	《実施事項と時期》 ・センサリーツアーの実施 4回/年 (4月、7月、10月、1月) ・園地ミーティングの実施 2回/月 ・植栽管理マニュアルの更新1回/月 ・技術研修会の実施 ・資格・技能資格の取得 ・堆肥ピットの活用(落葉の堆肥化) ・芝地管理地の草地管理への変更 (昆虫類の棲み処創出)
3 指定事業 評価項目 2 ・新たな公園活用方法の展開 ・SNSの二次発信	《目的》 ①公園のSNS発信力を高める ②公園の新たな使い方を周知させる ③草津川跡地公園の認知度を向上させる 《内容》 ・指定管理者ではなく、インフルエンサーによる公園情報の二次発信 ・SNSを利用した情報拡散力の向上 ・区間2多目的ひろばの新たな活用方法の周知 ・Instagramフォトコンテストの実施	《実施事項と時期》 ・マイクロインフルエンサーによる公園情報の2次発信 (3名以上) ・芝生上のピクニックシート展開による簡易的な魅力的場所づくり ・区間2、区間5にて実施 (年2回) ・ファミリー層への情報発信 (インフルエンサー1名辺り1000人以上のフォロワー選定) ・Instagramフォトコンテスト 3/1~2025/4/30開催



実績		指定管理者の自己評価	市(所管課)の評価
内容等	実施時期・回数等		
《内容》 園内照明広域(西口P~)にわたる照明器具の点滅及び不点灯事象発生に伴い原因究明及び制御盤①~⑥の保守点検を実施した。 また、器具破損に起因する園内照明全基の取替・修繕を実施しチラつき及び不点灯の対応を完了した。	《実施時期》 ・区間5 西口周辺照明制御盤修繕 2月19日9:00~12:00実施 ・園内照明点検 日中-アップライト清掃、メンテナンスを月・水・金実施 夜間-不点灯確認、必要に応じて随時実施	★★★	★★★
《内容》 ・植栽管理マニュアルの更新を専任担当を決めて実施した。 ・除草も現況に応じた手法に統一することで作業の効率化を図り、各ガーデンにおけるメンテナンスの頻度をアップさせた ・時節の見せ所に重点を置いた剪定及び刈込を実施し、空きエリアには新たな植込みで彩りを加えた ・植栽管理公園や自社管理公園の視察をもとに業務改善のヒントを得て、当園の園地管理に活かした ・伐採や剪定した樹木をネームプレートや市民活動の材料(小枝鉛筆づくり、スワッグ等)に活用し、落葉についても堆肥づくりに活用を行い、資材のリサイクルに繋げた。 ・人工芝増床、防草シート張り、中高木の植替え、園地内の看板作成等これまで外注していたものを自前で賄うことで経費削減につなげた。	《実施事項・時期》 ・センサリーツアー(4回実施) ・園地ミーティング(2回/月) ・植栽管理マニュアルの更新(随時) ・マツやつるバラの特殊剪定(年2回) ※熟練者及びロザリアン俱乐部講師にて ・堆肥ピット(区間2)のメンテナンス(枯葉投入及び攪拌)※通期 ・他園視察(宇治植物公園/シーパスパーク/ダムパークいばきた)※計3回 ・裸地休耕地活用(ネモフィラ/ヒメツルソバ/チューリップ)※2月~6月 ・学校農園との協業(除草/畝建て)※計3回 ・刈払機講習/防火責任者/普通救命講習※のべ11名	★★★★	★★★★
《内容》 ・区間5で大路学区と草津学区と共に、防災設備を活用(防災かまど、防災トイレ、防災パークゴラ)した。 ・マイクロインフルエンサーによる情報発信により、フォロワー外閲覧者数が増加した。(1/25 4名誘致、3/29-30 6名誘致) ・区間2多目的広場を透明ドームテントやティピーテント、ガーランド等で装飾した。(1/25) ・Instagramフォトコンテストでは、春を感じるフォトコンテストと題し、区間5では桜の季節、区間2ではA地区的ネモフィラとチューリップの花畠の時期に合わせて開催。(3/1~2025/4/30)	《実施時期・実績》 ・play in the park(1/18) ・おソトリビング (1/25) ・マイクロインフルエンサーによる二次的発信 年2回 (1/25、3/29-30) ・春を感じるInstagramフォトコンテスト2025 (3/1~2025/4/30) 応募枚数166	★★★★★	★★★★★

4	指定事業 評価項目 2 広報・利用促進	<p>『目的』 公園の主力広報媒体であるSNSを用い情報発信をおこなうことで新規フォロワー数の増加に努めるとともに、公園の魅力発信を特集していくことで、現在の公園のフォロワー層にさらなる公園の魅力を発信していく。公園パンフレットの更新を通して、公園内の情報をより密に提供するとともに、次のシーズンの主要イベントがわかるよう発信をしていく。</p> <p>『内容』 ・パンフレットの更新 ・Instagramでの情報発信 ・ホームページ見頃植物や情報の更新 ・広報くさつでの情報発信 ・えふえむ草津での毎月のイベント情報の発信</p> <p>『実施時期』 ・パンフレット更新 (新規更新1回) (シーズン更新 年3回) ・ホームページのガーデンなどの情報更新 (随時) ・Instagramにおけるイベントやお知らせなどの日常発信と特集企画 (随時) ・見頃植物やイベント情報のリアルタイム発信 (随時)</p>	<p>『内容』 Instagramを用いたイベントやお知らせの情報発信を継続的に実施、新規フォロワー数獲得につなげた。公園の魅力特集として、公園に来ただけでは伝わりにくい市民活動の紹介をするなど、公園の取り組みについて発信した。公園の四季の魅力を伝えるために、動画を作成、youtubeで公開するとともに、キラリエ草津で放映をよこなっている。公園パンフレットの更新を実施。四季ごとに年間4回の発行を開始し、今年度は秋号(10.11.12月)、冬号(1.2.3月)を発行した。公園内の情報を密にするとともに、次の季節に公園で実施されるイベントを掲載することで、公園のイベント情報の先行発信を実施していく。広報くさつで緑の管理活動部会実施のガーデンプログラムと、くさつ健・交クラブ連携事業のノルディックウォーキングを掲載。えふえむ草津「de愛ai彩情報局」として毎月第1火曜日に公園スタッフが出演、くさねっこ情報提供として毎月第4金曜日に市民活動のスタッフが出演し、タイミングで公園の情報を提供した。</p>	<p>『実施時期・実績』 ・Instagram新規フォロワー数が年間@info2,074名(合計フォロワー3月末3,821名)、@garden75名(合計フォロワー3月末1,057名)増加した。 ・毎月の月間カレンダーの作成と発信、公園で実施されるイベントをInstagramとホームページ、園内掲示で情報発信(年12回) ・くさねっこ月間カレンダーをInstagramとホームページに掲載(年12回) ・公園パンフレット秋号(9月配架)、冬号(12月配架)の作成。 ・ホームページのガーデンの情報を最新情報に毎月1回更新した。 ・Instagramで日常的な公園の情報を発信した。 ・Instagramにて、公園特集を発信(公園の市民活動の紹介)した。 ・公園四季を発信する動画の作成と公開を行った。 ・広報くさつにて、指定管理発案事業のガーデンプログラム年12回、ノルディックウォーキング体験会年6回、健康バンド運動体操年2回掲載し、参加者数獲得に繋げた。 ・えふえむ草津に公園スタッフが年12回出演、市民活動スタッフが年12回出演した。くさつ桜まつりでは公園スタッフとくさねっこパフォーマーが「まちなかラジオ出張所」に特別出演し、イベントを盛り上げた。</p>	★★★★★	★★★★★
		<p>『目的』 公園の資源を使い、市民とともに堆肥ピットの活用を検討しながら堆肥づくりに取り組み、公園の緑に還元するような循環のしくみづくりを目指す。事業者活動や緑の管理活動とも連携し、公園全体で取り組む。</p> <p>『内容』 ・公園での活用を想定した堆肥づくり ・活動に参加したい市民とともに、堆肥づくりについて学ぶ勉強会の開催 ・プロジェクトの活動をPRするような情報発信とフェスの開催</p> <p>『実施時期』 ・くさねっこカレッジ 年3回 ・企画会議 随時(5回) ・堆肥フェス 11月ごろ開催予定</p>	<p>『内容』 堆肥ピット活用プロジェクトとともに進めるメンバーを集めため、堆肥づくりを学ぶくさねっこカレッジを全3回実施した。参加人数は13名だった。また、くさねっこカレッジで集まったメンバーで企画会議を実施し、今後の活動について話し合った。公園の落ち葉や剪定枝を集め、3月にde愛ひろばにてバイオネストづくりを実施した。また、11月に草と土と循環フェスを開催し、くさつFarmers' Marketにプロジェクトの紹介ブースを設けた。また、次の堆肥づくりに向けて出店者やパフォーマーからコーヒーのガラを回収した。広報では、みずの森植物公園で開催されたイベントにて堆肥ピット活用プロジェクトを紹介するブースを設置した。</p>	<p>『実施時期・実績』 ・くさねっこカレッジ(8月、9月、12月／3回) ・草と土と循環フェス(11月／1回) ・企画会議(6月、7月、1月／3回) ・くさつFarmers' MarketやShiga COFFEE FESとの連携相談(8月～11月) ・コーヒーのガラ回収(11月、12月／4回体) ・プロジェクトメンバーによる落ち葉拾い(12月／2回) ・剪定枝集め(2月) ※園地作業内 ・堆肥の活用(1月、2月／2回) ・バイオネストづくり(3月／1回)</p>	★★★★★	★★★★★

6	指定事業 評価項目 3・4 イベント企画	<p>目的</p> <p>公園の現在の課題解決や新規ステークホルダーとの関係性づくりを通して、公園の新たな活用方法を発見するとともに、公園の魅力を発信し、利用促進につなげる。</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 草津市主催イベントとの連携 区間2小規模事業者連携イベント くさつ健・交クラブとの連携 ロザリアンの俱楽部の実施と改革 区間5事業者連携長期占用事業 レンタサイクル導入検討 視察事業 ガーデナーkanaさんの寄せ植え教室 区間2A地区的活用 	<p>実施時期</p> <ul style="list-style-type: none"> 健幸フェア 10月初旬開催予定 区間2小規模事業者連携 11月頃 くさつ健・交クラブとの連携 →ノルディックウォーキング体験会と健康バンド体操の実施 ロザリアン俱楽部 年8回 区間5他力本願型長期連携 夏頃 レンタサイクル導入検討 導入方法について草津市と協議 視察事業 随時受付 ガーデナーkanaさんの寄せ植え教室 年12回 区間5、区間2に移動図書館の定期巡回 各区間年12回 	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 草津市主催イベントとの連携や、公園内外事業者、草津市内多団体と連携したイベントを企画することで、公園の利用促進につながる取り組みをおこなった。 公園利用促進のためのレンタサイクル導入検討や、事業者の長期占用事業など、新しい取り組みについて協議を実施。 ロザリアン俱楽部は将来的な支援方法について継続協議する。 公園の利用促進のため、ガーデンプログラムを開催。 犬の散歩で利用される方のマナーに対し、課題解決を目的にイベントを開催。 区間2小規模イベントを実施することで、日常にぎわいを創出する。 区間2のA地区に8月頃ひまわり畠、4～5月頃チューリップとネモフィラ畠を実施。 移動図書館わかくさ号の定期巡回 	<p>実施時期・実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 区間5草津市事業連携「健幸フェア」(10/6) 区間2事業者連携事業「おソトリビング」(1/25) くさつ健交クラブ連携事業 →「ノルディックウォーキング体験会」年6回、「健康バンド体操」年2回 ロザリアン俱楽部 年8回実施、緑の管理活動部会のひとつとして支援していく。 区間5事業者連携長期占用事業 2024年度は保健所許可の関係で実施不可。継続協議となる。 レンタサイクル導入：レンタサイクルの事業者連携を図り実施する。 「草津野菜収穫サイクリング」(おうみ×ツーリズム)(11/16)、「レンタサイクル×いちご狩り」着地観光型企画(観光物産協会連携事業)(3/26-30) 区間5地域連携事業「play in the park」(1/18)スタンプラリー(1/18～1/26) 区間5草津市広域連携事業「くさつ桜まつり」(3/29-30) 公園課題解決事業「あいさいワンワンDAY」(12/8) 区間2にぎわい創出事業「オニ逃走中！」(2/1) 移動図書館わかくさ号定期巡回(区間5年12回、区間2年12回) 視察：計5回実施 ⇒くさねっこガイドプラン2回 ⇒スタンダードプラン3回 	★★★★
7	指定事業 評価項目 4 市民活動等コーディネート	<p>目的</p> <p>市民が主体となって関わり、公園の機能を活用した多様な市民活動が展開される場となることで、公園の日常的な賑わいの創出を目指す。</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 緑の管理活動と連携したプログラムの開発 市民活動部会の活性化 活動主体の育成支援、活動支援 くさねっこカレンダーの充実、SNS発信の強化 アニュアルレポートの活用 	<p>実施時期</p> <ul style="list-style-type: none"> くさねっこ相談室 随時 くさねっこDAY 毎月開催 くさつ桜まつりや草津宿場まつりなど、大規模イベントへの参加 指定管理者主催イベントとの連携 	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 草津宿場まつり、みんなの健幸フェア、くさつ華あかりフェスタ、滋賀県糖尿病ウォークラー、くさつ桜まつりにてくさねっこプログラムを実施した。 指定管理者発案イベントであるあいさいわんわんDAY(12月)、Play in the park(1月)にてくさねっこプログラムを実施した。 緑の管理活動部会との連携イベントとして5月と10月に区間5でフラワーフェスタを、8月に区間2でひまわりういーくを開催した。 3月に市民活動部会の次期メンバーを募集し、市民活動部会にて協議した。くさねっこメンバー以外の部会参加方法については協議を進める。 チームメンバーが中心となり、くさつがわ川柳コンテストを企画実施した。89作品の応募があり、その中から来園者投票を実施。125票の投票があった。12月のくさねっこDAYで結果を発表、入賞者10名に表彰状とくさねっこカフェの招待券を授与した。 地元採用の市民活動コーディネーターが2名在籍。くさねっこカレンダーやアニュアルレポートの作成、くさつ桜まつりのくさねっこプログラム調整、くさつがわ川柳コンテストの企画支援はその2名がそれぞれ主担当となって進めることができた。引き続きコーディネーターのスキルを伝えていく。 これまで制作したくさねっこアニュアルレポートを窓口や視察などで販売。くさねっこアニュアルレポート2024を作成した。 みずの森植物公園で開催されたイベントにてくさねっこ紹介として小枝でエンピツをつくろうのプログラムを実施した。 くさねっこカレンダーを毎月発行。えふえむ草津に毎月出演。InstagramやFacebook、LINE、くさねっこアーカイブサイトでプログラムやイベント情報を発信した。 有償視察のなかで、市民活動に特化したくさねっこガイドプランの視察を受け入れた。 	<p>実施時期・実績</p> <ul style="list-style-type: none"> くさねっこ相談室(72件／随時) くさねっこプログラム(305回／随時) くさねっこDAY(月1回) イベントへの参加(5回／随時) 指定管理者主催、緑の管理活動部会とのイベント(5回／随時) くさつがわ川柳コンテストの開催(10月～12月) 緑に関する活動：アゲハ街道プロジェクト(8回／随時) アニュアルレポートの制作(1月～3月) くさねっこアニュアルレポートの販売(15冊／随時) くさねっこガイドプラン視察(2件／5月、1月) くさねっこカレンダーの作成、SNSへの投稿(月1回) えふえむ草津への出演(月1回) くさねっこアーカイブサイトへの投稿(28件／随時) Instagramフォロワー 取材対応(2件／10月、3月) 外部イベント参加(1件／3月) 	★★★★
						★★★★

<p>8</p> <p>評価項目 5</p> <p>自販機の利用促進 有料視察による公園 知名度向上</p> <p>自主事業</p> <p>『目的』 ・自販機とアイス販売の収益性向上を目指す。 ①多様な決済方法を導入し、購入機会を増やす。 ②商品ラインナップやゴミの回収頻度等について随時、協議・検討を重ね、ニーズに合った商品提を図る。</p> <p>『実施事項と時期』 ・電子決済非対応自動販売機器のタッチ決済対応 (5月) ・イタリアンジエラートの電子決済機器導入 (2025年1月) ・自動販売機の商品ラインナップ変更 (随時) ・ペットボトル飲料以外の自販機の検討、協議 ・自主事業と絡めた防災機能の強化案の検討 ・視察内容の事前打合わせとアンケート調査による満足度の向上 (随時)</p> <p>①HPによる有料視察の案内</p>		<p>『内容』 下半期は、合計2団体(3名)に有料視察を実施した。 (スタンダードプラン2名・くさねっこプラン1名) 区間2に電子決済対応自動販売機が設置されていない事を受けて、5月度に利用頻度の高い自動販売機をピックアップし電子決済機器を導入した。 同年7月度には30%を超える電子決済利用率となり、BBQやランニングで来園された方より使いやすくなったとのお声をいただいた。また1月度にはイタリアンジエラートの電子決済(PayPay)に対応し、自動販売機同様、33%近くの利用率であった。 ペットボトル飲料以外の自販機及び防災機能の強化案として、大塚製薬社の自動販売機の設置を検討、非常用飲料だけでなくカロリーメイト等の非常食確保を視野に入れている。</p> <p>・11/17 スタンダードプラン 2名 (合計4,000円) 1/30 くさねっこプラン 1名 (合計2,000円) に対して有料視察を行った。 ・KIRIN電子決済非対応自動販売機器のタッチ決済導入 (2024年5月) ・イタリアンジエラートの電子決済機器導入 (2025年1月) ・自動販売機の商品ラインナップ変更 (随時) ・ペットボトル飲料以外の自販機の検討、協議 ・自主事業と絡めた防災機能の強化案の検討(大塚製薬社)</p>	<p>★★★</p>	<p>★★★</p>
--	---	--	------------	------------